

環境活動レポート

平成28年度

(対象期間:平成28年4月～平成29年3月)

平成 29年 6月 1日 発行



リ・パレット株式会社

承認 代表者	作成 環境管理 責任者
H29.6.1	H29.6.1

1. 会社概要(平成29年4月1日現在)

(1) 会社名

リ・パレット株式会社

(2) 代表者

代表取締役 關 秀一

(3) 役員

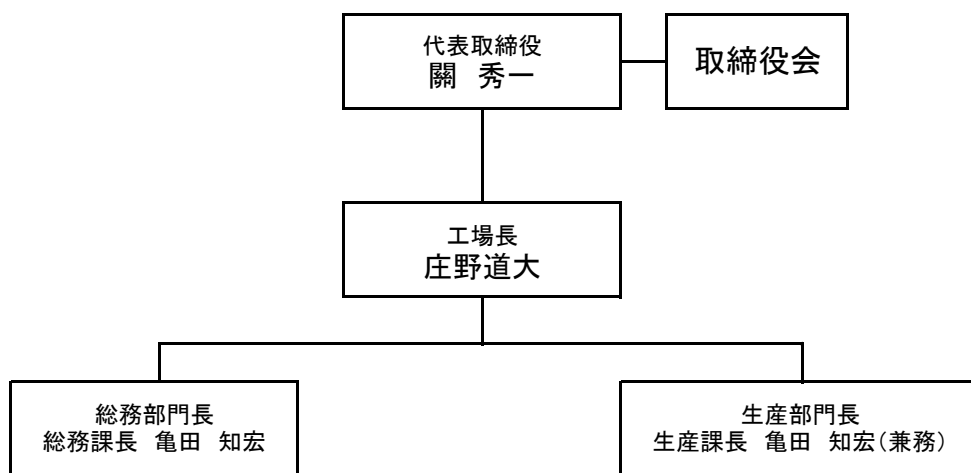
取締役 關 正美

取締役 川又 豊

取締役 高橋 由加

監査役 猪股 敦

(4) 組織図



(5) 創立

平成17年5月2日

(6) 資本金

5,000万円

(7) 所在地

〒293-0011 千葉県富津市新富87-2

電話 0439-80-1555

FAX 0439-87-1923

Eメール re-pallet@re-pallet.co.jp

(8) 会社履歴

平成17年5月 設立

平成19年4月 操業開始 現在に至る



↑PE・PP混合減容品 ↓パレット



(9) 事業内容

一般廃棄物処理・再生、再生樹脂を原料としたプラスチック成型品の製造・販売

(10) 事業規模

- ① 売上高 990 百万円 (平成28年度)
- ② 従業員 38名 (平成29年4月1日現在)
- ③ 工場棟(事務所を含む) 7,723 m²
- ④ 工場敷地 15,000 m²
- ⑤ 処理能力 プラスチック再生処理能力 76.8t/日(23,424t/年)

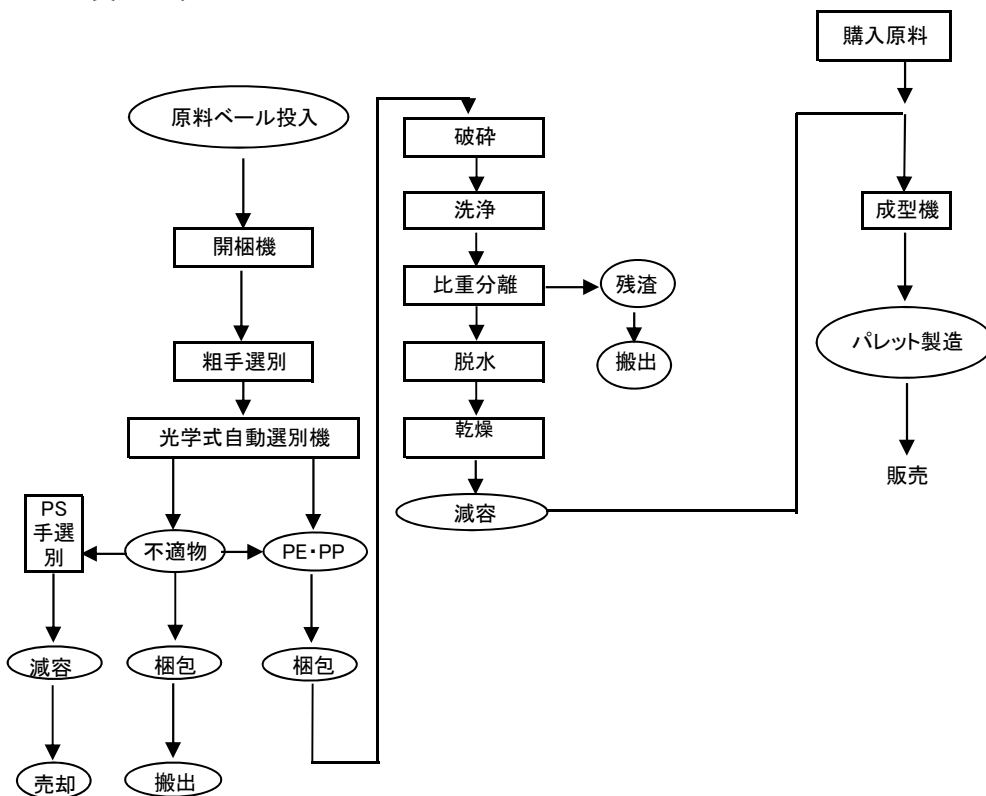
(11) 許可内容

一般廃棄物処理施設の設置許可	千葉県知事許可第17-7号
許可年月日	平成18年3月23日
許可品目	その他プラスチック製容器包装

(12) 保有車両・重機

- | | |
|-------------|-----|
| 乗用車 | 1 台 |
| フォークリフト(電動) | 2 台 |
| フォークリフト(軽油) | 6 台 |
| 2tトラック(軽油) | 1 台 |

(13) 製造工程



(14) 処理実績(平成28年度)

- ①搬入廃プラスチック量 11,549 t
- ②PP・PEフラフ生産量 5,692 t
- ③パレット生産量(枚数) 6,129 t (330,577 枚)
- ④パレット用原料購入量 602 t

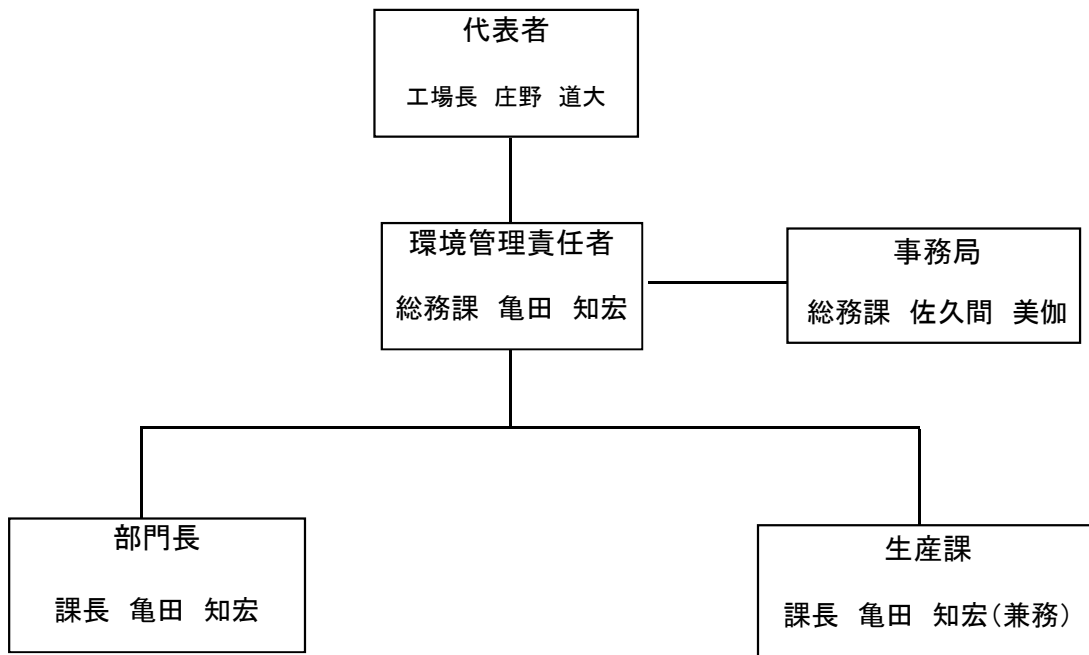
(15) 処理料金

日本容器包装リサイクル協会の委託業務のため、該当しません。

(16) 地域融和活動

工場周辺の清掃や、製品(パレット)および事業活動のPRの実施。

(17) 環境管理組織



(18) エコアクション21 認証範囲

認証・登録範囲 : 0005103

認証・登録年月日 : 2010/06/17

認証・登録事業者名 : リ・パレット株式会社

対象事業所名 : 事務所・工場

所在地 : 千葉県富津市新富87-2

事業活動内容 : 一般廃棄物処理・再生、再生樹脂を原料とした
プラスチック成型品の製造・販売。

(19) 環境関係責任者・担当者および連絡先

責任者 環境管理責任者 : 総務課 亀田 知宏

担当者 事務局 : 総務課 佐久間 美伽

電話 0439-80-1555

FAX 0439-87-1923

2. 環境方針

環境方針

基本理念

リ・パレット株式会社は、廃プラスチック再生資源化事業者及び廃プラスチックを原料としたパレットの製造事業者として、循環型社会形成の中核を担うべきものと自覚しています。

事業活動にあたっては、全従業員が地域環境、地球環境との関わりを深く認識するとともにEA21環境経営システムを導入し、公害防止、環境保全、継続的な環境負荷の軽減に取り組みます。

基本方針

当社は基本理念のもと、関係法令を遵守し、次の事項を自主的、積極的に取り組むと共に定期的な見直し、システムの継続的な改善に努めます。

1. 受託した廃プラスチックの再資源化と品質の向上、廃棄物の削減に努めます。
2. 当工場で排出する産業廃棄物の再利用等について調査研究に努めます。
3. 機械設備の効率的な稼働に努め、電気、ガス、水等の節減に努めます。
4. 設備の更新、改善はエネルギー消費効率に優れ効率的に使用できるものを採用します。
5. 工場見学者を積極的に受入れ、プラスチック容器等の再資源化等について啓蒙活動に努めます。
6. 事務所でのグリーン購入の推進、電気、ガス、水道、紙の使用節減及び廃棄物の削減等エコオフィス活動を推進します。
7. 社用車、フォークリフトの「エコ安全ドライブ」を推進します。
8. 工場内緑地の環境保全に努めます。
9. 従業員の自転車通勤を奨励し、自転車通勤者を増やします。
10. 4S+1Sを徹底します。
11. 環境方針を全従業員に周知し、その達成に努めます。
12. 環境活動レポートは一般に公開します。



制定：平成22年1月25日

改訂：平成29年4月1日

リ・パレット株式会社

工場長

庄野道大

3. 環境負荷の実績

平成26年度から平成28年度の、環境負荷実績は 表-1 のとおりです。

表-1 ※表-1内の二酸化炭素排出係数は平成26年12月5日環境省発表平成26年実排出係数0.530kg/kwh(東京電力)を使用

環境への負荷			単位	26年度	27年度	28年度
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※1		kg-CO2	2,387,061	2,668,236	3,808,729
②受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量		t	5,099	6,228	11,549
	中間処理量		t	5,099	6,288	11,549
	うち再資源化等量		t	2,549	3,170	5,692
	最終処分量		t	0	0	0
	中間処理後の産廃等の処分量		t	7,908	8,473	11,926
	うち再資源化等量		t	7,908	8,393	11,926
③廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再生利用	t	1.58	1.03	1.01
		焼却	t	3.55	2.32	2.06
		最終処分量	t	0	0	0
	産業廃棄物	再生利用	t	2,763	3,313	6,111
		焼却	t	91	80	121
		最終処分量	t	0	0	0
④-1総排水量	公共用水域		m ³	0	0	0
	下水道		m ³	47,534	36,735	55,004
④-2水使用量	上水		m ³	446	342	461
	工業用水		m ³	48,867	36,682	61,388
	地下水		m ³	0	0	0
⑤化学物質使用量			kg	0	0	0
⑥エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)		MJ	43,838,654	48,826,888	69,808,964
	化石燃料		MJ	351,065	526,819	653,765
	新エネルギー		MJ	0	0	0
	その他		MJ	0	0	0
⑦物質使用量 (投入ペール、改質剤、パレット他社材)	資源使用量		t	7769	8,576	12,072
	循環資源使用量		t	0	0	0
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量		t	0	0	0
	水の利用量		m ³	0	0	0

【 】は必須項目

4. 今後の環境目標と計画(27年度～29年度の中期目標)

基準年より今後3か年の中期目標は次の通りです。

平成27年5月1日改訂

※1 : 電力の二酸化炭素排出係数は平成26年12月5日環境省発表平成26年実排出係数 0.530kg/kWh(東京電力)を使用

項目		基準年 (平成26年度)	中期目標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
二酸化炭素の削減 kg-CO2		2,387,061	4,494,024	2,704,517	4,086,563	4,494,024	
投入量 (t) (原料ペール)		005	10,000	5,893	9,000	10,000	
電力節減 (kWh)		865	839	856	848	839	
		原単位(kwh/t)	3%	1%	2%	3%	
		4,459,680	8,390,500	5,046,471	7,629,300	8,390,500	
化石燃料	ガソリン (ℓ)	1110	1%	1%	1%	1%	
			1099	1,099	1,099	1,099	
	軽油 (ℓ)	1.53	1.48	1.51	1.50	1.48	
			原単位(L/t)	3%	1%	2%	3%
			7,897	14,841	8,926	13,495	14,841
	LPガス (m3)	43	1%	1%	1%	1%	
42.6			42.6	42.6	42.6		
水資源節減	上水 (m3)	446	1%	1%	1%	1%	
			442	442	442	442	
	工業用水 (m3)	9.48	9.48	9.48	9.48	9.48	
			原単位(m3/t)	維持	維持	維持	維持
		48,867	94,800	55,866	85,320	94,800	
産業廃棄物減 (t)		0.56	0.543	0.554	0.549	0.543	
			原単位(t/t)	3%	1%	2%	3%
			2,854	5,432	3,267	4,939	5,432
一般廃棄物減 (t)		5.1	維持	維持	維持	維持	
			5.1	5.1	5.1	5.1	
グリーン購入比率		75.9%	78.2%	76.7%	77.4%	78.2%	
			購入比率増加率	3.0%	1.0%	2.0%	3.0%

5. 主な環境目標とその実績

(1) 環境目標の設定・実績評価

環境目標は事務所と工場に分けて設定しました。

[事務所]

環境目標	単位	26年度	28年度			実績評価等
		基準値	目標値	実績値	目標値比	
二酸化炭素の削減	kg	2,387,061	4,086,563	3,808,723	93%	電力使用量の削減が達成要因。次年度も達成につとめる。
一般廃棄物の削減	t	5.1	5.1	3.07	60%	仕分けを徹底し、資源化をはかり、抑制につとめた。
電力の節減	kWh	46,640	46,174	52,332	113%	事務棟使用時間が増えた。原単位での把握できるよう検討する。
LPガスの節減	m ³	43	43	104	244%	増大した要因を検討し、原単位導入の検討をする。
社用車両ガソリンの節減	ℓ	1,110	1,099	703	64%	年度末の新規業務に伴う連絡業務のため増大となった。目標値見直しを検討する。
グリーン購入の推進	購入比率	—	77.4%	92.6%	120%	商品選定を積極的に取り入れた。

[工場]

環境目標	単位	26年度	28年度			実績評価等
		基準値	目標値	実績値	目標値比	
電力の節減	kWh	4,459,680	7,629,300	7,101,624	93%	連続運転による効率化が原単位を達成した。次年度も連続した運転を心掛ける。
		※1原単位 (kWh/t) 865	848	620	73%	
工業用水の節減	m ³	48,867	85,320	61,388	72%	使用量の達成と原単位の未達の相関性がつかめない。原因について調査検討していく。
		※1原単位 (m ³ /t) 9.48	9.48	10.79	114%	
産業廃棄物の削減	t	2854	4939	6160	125%	排出量と原単位の乖離がある。原因について調査検討する。
		※1原単位 (t/t) 0.56	0.549	0.538	98%	
軽油の節減	ℓ	7,897	13,495	15,388	114%	バッテリー車導入実績効果があまり見られなかった。次年度も計画通り導入し、節減につなげる。
		※1原単位 (L/t) 1.53	1.50	1.34	90%	
工場内の 整理・整頓・清掃	○×	実施	○	未達	-	次年度は業務枠に組入れ定着をはかる。

6.平成28年度の主な環境活動計画の取り組み状況と次年度の取組内容

(1) 事務所

環境目標	取り組み	結果	評価	平成29年度予定
電力の節減 (工場の使用電力量に含む)	① 冷房28℃以上、暖房20℃以下に設定	△	本格的に暑くなる時期の前は冷房の温度を保てたが、夏場は熱中症にならないように冷房の温度を下げた。 クールビズについては、各自で調整できていた。	冷暖房の温度調整については継続する。 クールビズ、ウォームビズについては目標達成し定着したため、通常業務に移行する。
	② クールビズ、ウォームビズの励行	○		
LPガスの節減	① 用途に適した温度設定 (給湯温度は40℃)	○	2、3月と気温が下がる時期はガスの使用量が増えたが、その他で無駄な使用は抑制できた。しかし、前年度と比較すると使用量が増えた。	LPガスの使用量が前年度と比較すると増加しているので節減について継続的に取り組む。
	② 無駄な使用の抑制	○		
グリーン購入の推進	① エコマーク商品の購入	○	消耗品を購入の際、エコマーク商品やグリーンマーク商品等を選んで購入できた。	目標達成が定着したため、通常業務に移行する。
	② グリーンマーク商品の購入	○		
地域環境保全活動	① 工場周辺の清掃	△	早番の出勤者が工場周辺のゴミ拾いを行った。	実施頻度が少なかったため、29年度は積極的に取り組む。

(2) 工場

環境目標	取り組み	結果	評価	平成29年度予定
電力の節減	① 生産停止後のダラダラ運転防止(ポンプ、コンプレッサー等)終日	○	コンベアに係るメンテナンス業務が出来なかった。	月次点検項目に組み入れる。
	② 制御盤の不使用时ブレーカーオフ	△		
	③ 回転体巻付き清掃(動力負荷低減)	△		
	④ ベルトCVの蛇行、脱落等の点検(動力負荷低減)	×		
	⑤ Vベルト、CVチェーンの緩み、空回り等のテンション調整	×		
	⑥ 工程別換気扇の消し忘れ確認	○		
	⑦ 空運転(無負荷運転)の防止	○		
工業用水の節減	① 運転停止後の出しっぱなしの防止	○	環境活動は定着しているが、数値未達に終わったので原単価を見直す。	流量計を設置し、使用の詳細について把握に努めたい。
	② グランドパッキン部の点検	△		
	③ 中水使用率引上げ	○		
産業廃棄物の削減	① 選別機メンテナンスの実施	○	環境活動は定着しているが、排出量は大幅に増加。特に汚泥の発生量は水処理施設稼働率と過去の実績を含め検討する。	定着している活動項目について取組内容を検討する。
	② 水切りの徹底	○		
	③ PACの適正量使用	○		
	④ 汚泥含水率の低減化	○		
	⑤ 原料比の適正化	○		
	⑥ ダンゴ(樹脂廃棄物)の排出抑制	○		
設備の更新・改善	① 工場内及び外灯照明のLED化	○	バッテリー車導入及びLEDは次年度も継続して進める。	流量計の設定は、使用量の具体的把握の観点から早急に実施し、使用量抑制に努める。
	② バッテリーフォーク導入	○		
	③ 破砕工程流量計の設置	×		
	④ 比重分離残渣ステーションの移設	×		
軽油の節減 (フォークリフト)	① 急停車・急発進の抑制	○	活動項目はほぼ定着した。	次年度もバッテリー車を継続的に導入する。
	② ふんわりアクセルの実施	○		
	③ アイドリングストップの実施	○		
	④ 走行距離の短縮	○		
工場内の整理・整頓・清掃	① ベール・フレコンバック・パレット等の適正保管	○	プラの散乱等で汚れることが多かった。4Sについては朝礼、終礼時に指導、確認する。	年間安全衛生計画に組み入れる。
	② 使用後の工具は、工具箱に収納する	△		
	③ 場内外に散乱した原材料は速やかに回収する	○		
	④ 4Sの実施	×		
	⑤ 段ボール、紙袋、可燃物との分別の徹底	△		
	⑥ 不用機材(渦巻き分離機、梱包機等)の処分	×		
	⑦ 不用機材(渦巻き分離機、梱包機等)の処分	×		

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

①次の環境関連法規等の要求事項、遵守状況等を一覧表に取りまとめ確認・評価した。

- ア 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)
- イ フロン排出抑制法
- ウ 富津市環境条例(騒音規制法、振動規制法)
- エ 計量法
- オ 電気事業法
- カ 富津市火災予防条例(消防法)
- キ 君津富津広域下水道組合 下水道条例
- ク 千葉県工業用水条例(工業用水道事業法)
- ケ 労働安全衛生法
- コ 千葉県自然環境保全条例(緑化協定)
- サ 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)
- シ 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)
- ス 特定家庭用機器再資源化法(家電リサイクル法)
- セ 使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)
- ソ 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)

②遵守状況の確認及び評価の結果等

平成28年6月及び29年3月に遵守状況の確認・評価を行いました。環境法規制等の違反は一切ありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟等は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直し

工場の環境活動計画に未実施のものが見受けられた。活動項目を日々、月々の生産計画に組み入れて行えるものは、実施すること。このことが生産ロス低減等、効率的な運転につながり環境負荷低減に寄与することを再認識させたい。

